

羅針盤

令和3年度 第4号 (通算330号)
令和3年7月2日 (金) 発行
岡山県総合教育センター 企画部
Tel (0866)56-9102 Fax (0866)56-9122

GIGAスクール構想の実現に向けて、県総合教育センターではICT活用実践事例を積極的に発信していきます。今回は「美作市立美作北小学校」と「岡山県立津山高等学校」の取組事例を紹介します。

おかやまICT活用実践事例集 GIGA取材 R3.4

小学校
理科

美作市立美作北小学校の取組

1人1台端末を活用した6年生理科の実践



美作市立美作北小学校で6年生理科の公開授業を取材させていただきました

【概要】

授業は6年生理科、単元「ものが燃えるしくみ」の第6・7時「ものが燃えるときの空気の変化」です。気体検知管を使い、ものが燃える前と後の空気の変化（酸素の割合が減り、二酸化炭素の割合が増える）を測定する、グループ活動での実験を中心とした授業であった。
授業者は、理科専科で、校内の情報教育も担当し、教育の情報化を中心となって進めている。
活用していたICT環境は、①1人1台端末（Chromebook）、②教師用パソコン、③大型提示装置（液晶モニター）、④Google Workspace for Education Fundamentals（Classroom、Spreadsheet、Forms）。

A 教科指導における活用

- 1 実験のワークシート等、授業で活用するファイルはすべて、Classroomで共有していた。

・継続して使っているため、児童は教師の簡単な説明ですぐにファイルを開くことができていた。



B 学習環境・校務の情報化

- 10 充電ボックスによる端末管理が行われている。

・校内での活用を考慮した端末の管理と充電が行われており、教師の負担軽減と日常的な活用につながっている。
・夜間にタイマーで自動的に順番に充電されるしくみになっている。
・5台単位でかごに入っており、かごでの移動も可能で、1人1台やグループ1台の活用に柔軟に対応できる。



美作北小学校では理科をはじめ、各教科で積極的なICT活用が進んでいます。1人1台端末を使い、Googleの各アプリの共有機能を効果的に活用しています。予想や結果、児童の意見の共有を行い、広い視点で考察するなど「主体的・対話的で深い学び」につながる授業改善が行われています。

キーボード入力が課題となっている児童もおり、系統的な指導の必要性があるとのことでした。

公開授業には多くの教職員が参加しています。今回の授業が好事例として他校にも広がっていくことを期待します。

端末の管理や持ち運びなど、ちょっとした工夫が参考になります。

津山高校では授業内外を問わずICT活用を進めており、本年度より情報担当者を教務課内、および各年次ごとに増員し、組織としてより効率的な推進体制が整いつつあります。

「課題もあるが、試しながらやってみる。」
「使ったらいいことがありそう!」と前向きな取組が進んでいます。

実践事例通信や動画をClassroomに投稿し、シェアしています。

研修資料や校内の各種資料をGoogleDriveにアップし、ペーパーレス会議を実現しています。「必要な人だけ、必要な場所だけ」ダウンロードし印刷しています。

高等学校

おかやまICT活用実践事例集 GIGA取材 R3.6

岡山県立津山高等学校の取組

校内研修の実践・1人1台端末の活用実践



岡山県立津山高等学校でのGIGAスクール構想推進への取組を取材しました

【概要】

『まず使ってこー!』『使ったらいいことありそう!』を合言葉に、端末を持つ1年生の授業を中心として、Googleのアプリを活用した授業やHR、進路指導等が増えつつあり、そのメリットとデメリットを検証しながら実践例が蓄積されている。

組織として主導できる人員を増員配置し、校内研修では年度当初に自由参加の形で「自主研修会」を開催し、好評だった。また、総合教育センターの遠隔研修では、各教員が持つ端末に資料を共有することで、紙媒体の配布をしない研修形態だった。

C 校務・校内研修の情報化

- 8 情報共有には実践事例通信や、動画を活用。

◎Chromebookの活用授業などを紹介する企画通信を随時発行し、全教員に配布することで、技術の伝達がスムーズになり、困ったときにも聞きやすくなった。

◎例えば「連絡先をcsvで取り込むには?」のような、紙の説明資料では説明しにくかったり、紙の説明資料を作る労力がかかったりする場合に、マイクで説明を加えながら実際の画面の動きを録画し、Classroomの「高校職員室」(教員のみ見れるもの)に投稿し、周知した。

※併設の津山中学校(数学)では、生徒から多い質問については解説動画を作成し、Classroomでシェアしている。

教務課企画通信

第4号



- 9 研修資料はGoogleDriveで共有し、ペーパーレス会議を実現。

◎総合教育センターの研修支援を遠隔で行った際や、校内の各種会議資料はClassroomやGoogleDriveにアップし、『必要な人だけ、必要な場所だけ印刷する』ことにした。

◎全員の机に確認しながら資料を配付し、会議後は取りあえずファイルする、という紙資料のムダが減った。

△依然として「紙で資料を配ってほしい」という声もある。



「おかやまICT活用事例集」には、明日からの授業に役立つヒントが盛りだくさんの内容になっています。

詳細は、センターホームページで、ぜひご覧ください。 <http://www.okayama-c.ed.jp/i-katsu/>

